

GREETING

本日は、テンピースプラス・ワンライン第6回コンサートにお越しいただき、誠にありがとうございます。

当バンドは2006年に誕生。「楽しければ何でもやってみる」というスタンスで、難曲にも果敢に挑戦し、テンピースプラスというまだ数少ない編成のアンサンブルを普及すべく日々研鑽を重ねております。

さて、本日のプログラムのテーマは「モダン」。日本とアメリカの新しくモダンな作品を演奏いたします。また、今回は初の委嘱作品となります、当バンドサウンドアドバイザーである小泉貴久氏の「無限に燃めく星たちへの讃歌」を演奏いたします。快く作曲を引き受けてくださいました先生に深く感謝申し上げます。

Ten Piece Brass ONELINE 代表 高木 弘幸

COMPOSER



小泉 貴久 (サウンドアドバイザー)
TAKAHISA KOZUMI "Sound Advisor"

東京都出身。10歳の時よりトランペットを始める。
東京音楽大学トランペット科卒業。

トランペットを北村源二、丸山研也、林昭世の各氏に師事。2009年、Vivid Brass Tokyo のソリストとしてフィリップ・スパーク作曲の「Concerto Grosso」を作曲家自身の指揮で演奏し、好評を得る。作曲、編曲活動も行っており、代表作として吹奏楽「Dreaming」[Nostalgia]、金管バンド「Solitary Star - 孤独の星 -」(アイーナ出版) などがある。編曲作品は、金管バンドのための「アルメニアングラスパート1」「エル・カミニョ・レアル」「シラフオニア・メビウソナマ」などがテーマズ出版より発売されている他、オーケストラ、アンサンブル、吹奏楽など多岐にわたる。

現在、Vivid Brass Tokyo ソロコネット奏者。
石川県トランペットソサエティー専属アレンジャー。

無限に燃めく星たちへの讃歌 (委嘱作品 世界初演)

私がこの曲に込めたメッセージは「勇気」と「愛」で、これは2楽章のモチーフとなった少年が持ち合わせた二つの心です。仲間を信頼する強い心を「勇気」、いつも彼が見せる笑顔を「愛」として、彼とその仲間の姿を、まばゆいばかりに燃めく星に見立てて表現したつもりです。

また、オーケストラレーションの面で、すべてのパートがソロやメロディーを担当することにより、奏者のひとりひとりが「スター」となるように配しました。最後に、この作品を委嘱していた「勇気」と「愛」で響き合うテンピースプラス「ワンライン」の皆さんに感謝します。

SPECIAL THANKS

木内太一様
TAICHI KUCHI
Stage Manager

鈴木一登様
KHIYO SUZUKI
Reception

山井美由起様
MIYUKI YAMAI
Reception

山崎晶弘様
AKIHIRO YAMAZAKI
Movie

山口敦様
ATSUSHI YAMAGUCHI
Photo

Ten Piece Brass
ONELINE *6th Concert

Ten Piece Brass
ONELINE *6th Concert
テンピースプラス ワンライン 第6回コンサート

2015年
2/11 祝 13:30開場 14:00開演
武蔵野市民文化会館

PROGRAM

アルピオン (東海林修 / 山里佐和子編曲)

Albion by Osamu Shoji, arr. Sawako Yamazato

文明開化の鐘 (高橋宏樹)

Bunmeikaika no Kane by Hiroki Takahashi

ふるさと (岡野貞一 / 木村文香編曲)

Hometown by Teiichi Okano, arr. Fumika Kimura

無限に煌めく星たちの讃歌 (小泉貴久 / 委嘱作品【世界初演】)

Hymn for the Endlessly Gritting Stars by Takahisa Koizumi *World Premiere

ザ・ガール・イン・サテン (ルロイ・アンダーソン)

The Girl in Satin by Leroy Anderson

アーヴィング・バーリン組曲 (アーヴィング・バーリン / ハワード・スネル編曲)

Irving Berlin Suite by Irving Berlin, arr. Howard Snell

スマイル (チャーリー・チャップリン / 高木弘幸編曲)

Smile by Charlie Chaplin, arr. Hiroyuki Takagi

ラブソフィー・イン・ブルー (ジョージ・ガーシュウィン / 高木理恵編曲)

Rhapsody in Blue by George Gershwin, arr. Rie Takagi

NEXT CONCERT

金管まつり2015 2015年6月20日(土) さいたま市桜区プラザエント

第7回コンサート 2016年2月14日(日) すみだトリフォニーホール 小ホール

PROGRAM NOTE

アルピオン

吹奏楽ファンから絶大な人気を誇る1977年吹奏楽コンクール課題曲「ディスコ・キッド」の作曲家・東海林修の作品。もとはシンセサイザーのために書かれた曲で、奏者には数小節ごとに変わる転調についていく頭脳に複雑な指の動きを組み合わせた超絶技巧が求められる、爽快なアップビートで一日のスタートに最適な一曲。

文明開化の鐘

若手人気作曲家・高橋宏樹の代表作。人気トランペット奏者のエリック・ミヤシロ率いるスーパーブラスアンサンブル「有ブラス」のために書かれ、今や金管アンサンブルの定番曲となりつつある。前半と後半の勇ましく輝かしいサウンドと中間部の優しく包み込むようなサウンドとのメリハリが聞きどころ。

ふるさと

郷愁への強い想いをダイナミックかつドラマチックにアレンジ。編曲した木村文香はイギリス・サフォード大学在学中に東日本大震災の復興を願ってブラスバンド用に編曲し、イギリスでのチャリティコンサートで演奏した。日本で最も人気の作曲家ピーター・グレアムに師事し、今後も作曲・編曲家として更なる活躍が期待される。

ザ・ガール・イン・サテン

タンゴの甘く魅力的なリズムに寄り添う可憐な旋律が何とも美しい。軽音楽の巨匠ルロイ・アンダーソンの作品。「シンコペイテッド・クロック」や「タイプライター」など楽器ではないものを音楽にたとえた曲や、仲の良かったトランペット奏者を休む暇なく演奏させるために書いた「トランペット吹きの日」など茶目っ気あふれる作品が有る。

アーヴィング・バーリン組曲

アメリカを代表するポピュラーソングの作詞作曲家で、101歳まで長生きし、作った曲は1,500曲と言われている。ヒット曲には「ホワイトクリスマス」や「コッド・プレス・アメリカ」など。

*エニシング・ユー・キャン・ドゥー・アー・キャン・ドゥー・ベター

ミュージカル「アニー」銃をとれ」の挿入曲。男勝りの女射撃手アニーと一目惚れした射撃ショーのスターのフランクが「君ができることはなんでも僕はもっと上手にできるよ」「いいえ無理よ」と張り合うコミカルなシーンで歌われる。

*アップリティー・ガール・イズ・ライク・ア・メロディ

ブロードウェイのミュージカル「ジュー・ジャグ・フェルト・フォーエヴァー」のテーマ曲。華やかなドレスをまとった美女に囲まれて「美しい女性はメロディのようだ。朝も夜も僕の頭から離れない。」と歌う。

*イッツ・ア・ラブリー・デイト・トゥモロー

第二次世界大戦中に戦場で慰問コンサートを行ったイギリスの歌手ヴェラ・リンによって歌われた。「明日はきっといい日になる。もしも明日は心が壊れて、すべてが灰色に見えるとしても。涙でかすんだ目に、明日は晴れた青空を見せてあげよう。」

*フッティング・オン・ザ・リッツ

映画「踊るリッツの夜」の主題歌。リッツとは高級で有名なホテル「ザ・リッツ」のことで、フッティング・オン・ザ・リッツはおしゃれをするという slang。「どこにも行く出でがないのなら、おしなれに着飾って、持っているタイム(5セント硬貨)を全部使って楽しもう」と貧乏な主人公が皮肉を込めて歌う。

スマイル

喜劇王チャーリー・チャップリンの映画「モダンタイムス」の挿入曲。この二重頭の物悲しいメロディには後に歌謡がつけられ、ナット・キング・コールやマイケル・ジャクソンなど多くの歌手によって歌われた。「どんなに辛い時でも笑顔さえ絶やさなければ、いつか人生は捨てたものじゃないと気付くだろう」

ラブソフィー・イン・ブルー

ミュージカル黄金期、ブロードウェイで大人気だったガーシュウィンがジャズ楽団長のホール・ホワイトマンに半ば強引に作られた初めてのオーケストラ作品。アメリカ独自の全く新しいウラシク音楽を作るため、当時アメリカで流行っていたジャズやブルース、ポップスなどの要素を取り入れて大成功を取った。

MEMBERS



東 正和 (ソプラノホルン)
MASAKAZU AZUMA *Soprano Horn
使用楽器: マウスピース
Antoine Courtois AC207R-1-0
with DENIS WICK RWK3



高木 弘幸 (ホルネット)
HIROYUKI TAKAGI *Cornet
使用楽器: マウスピース
BESSON Sovereign BE528
with DENIS WICK RWK3



川ノ上 梓 (ホルネット)
AZUSA KAWANO *Cornet
使用楽器: マウスピース
YAMAHA YCR330
with YAMAHA 11E4



野村 和歌子 (フリューゲルホルン)
WAKAKO NOMURA *Flugelhorn
使用楽器
YAMAHA YF331



竹ノ内 晋 (テナークーン)
SHUN TAKEUCHI *Tenor Horn
使用楽器: マウスピース
BESSON Privilege BE260
with DENIS WICK Hiteggi 4



高木 理恵 (バストロン)
RIE TAKAGI *Bass Trombone
使用楽器: マウスピース
BESSON Sovereign BE566
with DENIS WICK SAGE9



本多 沙織 (ユーフォニアム)
SACHIKO HONDA *Euphonium
使用楽器: マウスピース
Wilson T4200B5
with GRUPO 5



庄司 考志 (B・バス)
TAKASHI SHOJI *Bass
使用楽器: マウスピース
Wilson 360 T4-4
with Tiz 169-02 *Water Higgs Moku



岡田 大和 (バストロン)
YAMATO OKADA *Bass Trombone
使用楽器: マウスピース
Vincent Bach 50B
with Bach 1014



藤井 義隆 (トロンボーン)
YOSIHIRO FUJII *Trombone
使用楽器: マウスピース
Wilson Bach 424G
with Wicks POLARIS II



悪原 至 (パーカッション)
FARU AKIHARA *Percussion



安東 友樹子 (パーカッション)
YUKI ANDOU *Percussion